

1月 給食だより



あけましておめでとうございます 午

ふゆやす お がっ はじ むかし いちがつ に がつ さんがつ
冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月
さ ねんど まつ む つきひ なが はや かん じき かぜ
去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。風邪
りゅうこう たいちょうかんり いっそう き にち にち たい
やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1日1日を大
せつ す おも
切に過ごしてほしいと思います。

に ほん がつ こう きゅう しょく

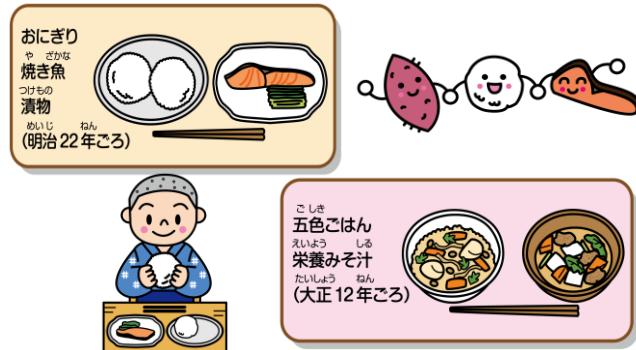
日本の学校給食のあゆみ



1/24~1/30は
せん ごく がつ こう きゅうしょくしゅう かん
「全国学校給食週間」です

学校給食の始まり

めいじ ねん やまがたけん しりつちゅうあいしうがっこ まづ こ
明治22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ
しょくじ ていきょう はじ たいしう ねん こ
食事を提供したのが始まりとされています。大正12(1923)年には、子ども
えいようじょたい かいぜん ほうほう がっこきゅうしょく くに しょうれい
もたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励
かくち ひろ せんそう しょりきょう ぶそく ちゅうし
されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを
え
得なくなってしまいました。



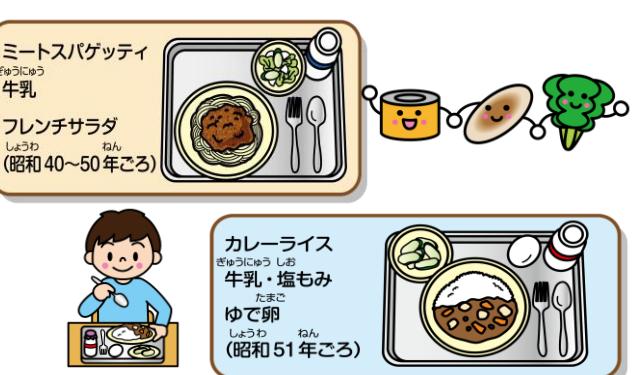
支援物資による学校給食の再開

せんご こ えいようじょうたい あっか しんぱい こえ たか しょうわ
戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21
ねん がつ か ラ ラ きゅうえんこうにんぶんたい きゅうしょくようぶっし
(1946)年12月24日にLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資
きぞう う よく がつ がっこきゅうしょく さいかい とうしょ がつ か
の寄贈を受けて、翌1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を
がっこきゅうしょくかんしゃ ひ ご ふゆやす かさ がつ
「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月
か しゅうかん せんこくがっこきゅうしょくしゅうかん
24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。



バラエティー豊かな献立内容に

しょうわ ねん がっこきゅうしょく せいりつ じっし たいせい ほう
昭和29(1954)年に「学校給食法」が成立したこと、実施体制が法
でき どとの がっこきゅうしょく きょういくかつどう い ち づ
的に整い、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。
しゅしょく ちゅうしん しょうわ ねん べいはん はん せいき どうにゅう
主食はパンが中心でしたが、昭和51年に米飯(ご飯)が正式に導入され
た こ はん どうじょう こんだてないよう じゅうじつ
ると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実していき
ました。



がっこきゅうしょく ないよう じだい へんか じだい か こ う た
このように、学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、「子どもたちが食えることなく、おいしく食べ
すこ せいちょう ねが こ げんだい おとな じぶんじしん かんが けんこう しょくせいかつ つづ
て、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食生活を続け
がっこきゅうしょく きょうざい やくわり にな
ることができるよう、学校給食は「教材」としての役割も担っています。